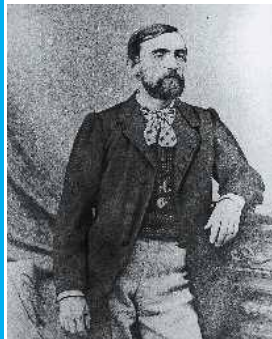


よこすか 水道の はなし

横須賀市の水道の始まり

1908 年



1876年フランス人ヴェルニーが、走水の湧水を横須賀造船所まで引きました。その後、造船所の水道施設を譲り受け、1908年に市営水道が始まります。

水道水ができるまで

24 時間

横須賀市の水道水を作る有馬浄水場（海老名市）では、活性炭を使って水の中の色やにおいなどを取り除く高度浄水処理をしています。



水質検査の数

150 項目以上

水源から蛇口までの各段階で、独自に定めた項目

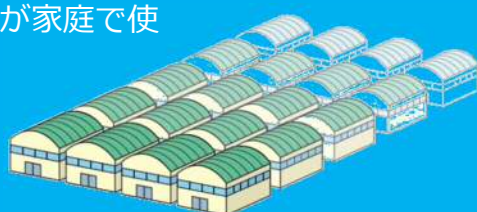


も含め、150以上の項目を常に厳しい検査を行い、良質な水道水を作ります。

横須賀市1年間の使用水量

体育館約 8,650 杯

このうち約74%が家庭で使われています。



※体育館1杯=5,500m³とした場合

横須賀の水道は、1876年に始まりました。川から取った水を、浄水場で24時間かけて浄水し、150項目以上の水質検査を実施することで、安心安全な飲み水を作っています。横須賀市で1年間に使う水量は、約4,760万m³（学校の体育館約8,650杯分）になります。



横須賀市上下水道局